

● **学校法人db VERSION:7.101**

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ ATLAS シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

※詳細は、次ページからの“**学校法人db（VERSION:7.101）の変更点**”を参照してください。

⚠ **注意**

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

# 学校法人 d b (VERSION:7.101) の変更点

## I. 導入・更新

### 1) データ抽出

・ATLAS シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

## II. 登録・入力

### 1) 仕訳入力

・ATLAS シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

## III. 通信・移動

### 1) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

### 2) マスター&データ抽出

・ATLAS シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

## その他改良

## I. 登録・入力

### 1) 仕訳入力

①金額欄にて電卓 (+キー) を呼び出して、左矢印・右矢印キーで消費税を計算するときに、日付に関わらず 8% で計算されていたのを、最初に矢印キーを押したときは込 10 又は抜 10 を表示して計算するようにしました。



左矢印キー (←) を押すと、込 10 > 税 > 込 8 > 税 > 込 10 の順で切り替わります。

右矢印キー (→) を押すと、抜 10 > 税 > 抜 8 > 税 > 抜 10 の順で切り替わります。

### 2) 残高問い合わせ

①試算表の [F7 合計・明細] 出力詳細タブの「△表示」の設定に従って、出力時に減価償却累計額などの金額に△を表示するように改良しました。

※出力時以外は従来通りの表示となっています。

## II. 出力

### 1) 比較・推移表

①2期・3期比較表でも年月表示を行えるように改良しました。

[F6 項目登録] に下記選択を追加しました。

- ・2期比較表を年月表示にする
- ・3期比較表を年月表示にする

※上記追加に伴い、従来、年月表示が可能だった“5期比較表”の選択項目の名称を「5期比較表を年月表示にする」に変更しました。

比較表

2期比較表を年月表示にする

3期比較表を年月表示にする

5期比較表を年月表示にする

「期表示を第〇〇期表示する」にチェックが付いている場合、当オプションを優先して表示します

②2期・3期・5期比較収支計算書で、出力形式を“発生”にした場合、出力月を自・至の期間の横に「〇月分」と表示するように改良しました。

※決修月を指定した場合は、従来通り（期末決算）と表示します。

※試算表と同様に、設定は設けていません。

また、出力形式が“発生”のみ表示し、累計のときは表示しません。

三期比較事業活動収支計算書 (発生)

自 31年 1月 1日 至 31年 4月 30日 4月分

③試算表と同じように、行間隔を“指定値”で出力できるように改良しました。

帳表形式 自動

出力形式 貸借帳表 累計

収支帳表 発生

金額単位 円単位

行間隔 指定値(4.2mm)

1行

1.5行

指定値(4.2mm)

科目名に科目コードを出力する

分類項目に網掛を出力する

- ◆[F6 項目登録]で出力行間の指定を行えます。指定を行える数値は“36～99”（1/10 mm）です。また、初期値は“42”となっています。

共通

破線出力

税処理区分を出力する

期表示を第〇〇期表示する

Excel出力で全科目を出力する(自動のみ)

出力行間 42 (1/10 mm)

※42未満に設定できますが、帳票の枠線と文字が少し被ってしまうため、基本的に42以上の数値でご使用ください

## Ⅲ. 通信・移動

### 1) 会計事務所へマスター&データ送信・移動

- ①デスクトップなどに保存できるように、移動方法に「ディスクへ保存」の選択肢を追加しました。初期値の保存先は¥ICSWin¥Work です。参照で保存先を変更できます。

移動方法	ディスクへ保存	
保存先	D:¥ICSWin¥Work	参照

※従来からの「メディアへ転送」も選択できます。(USBメモリ専用)

## 修正

### I. 登録・入力

#### 1) 仕訳入力

- ① [F3 表示設定] で「2行で表示」を選択した状態で、「検索」タブの [F4 一括修正] を選択して、修正開始を行うと、修正仕訳の確認画面で項目名の文字が重なって表示されていたのを修正しました。
- ② [F3 表示設定] の項目の ON/OFF によって、入力画面の項目が崩れていたのを修正しました。
- ③令和1年9月以前開始、令和1年10月以降終了事業年度のマスターで仕訳検索を行い、検索一覧画面で消費税をクリックして並び替えを行うと、「外税」「非課税」「不課税」にしている仕訳が9月までで一旦ソートされ、10月以降で再ソートして並び替えが行われていたのを修正しました。
- ※「仕入区分」「業種区分」が入力されている仕訳は、税区分を優先して並び替えを行っています。

番号	日付	伝票	借方	貸方	金額	税額	消費税	変	摘要
8	04.01		仕入高1.非課税	現金	10,000	0	非課		税区分 非課税
6	10.01		仕入高1.非課税	現金	10,000	0	非課		税区分 非課税
1	04.01		仕入高1.課税	現金	20,000	1,481	内8 /課税		課税売上に係る
3	04.01		仕入高1.課税	現金	10,000	740	内8 /課税		課税売上に係る
13	10.01		仕入高1.課税	現金	10,000	740	内8 /課税		課税売上に係る
4	04.01		仕入高1.非課税	現金	10,000	740	内8 /非課		非課税売上に係る
2	04.01		仕入高1.共売	現金	10,000	740	内8 /共売		共通に係る
5	04.01		仕入高1.課税	現金	10,000	909	内10 /課税		課税売上に係る
11	10.01		仕入高1.課税	現金	10,000	909	内10 /課税		課税売上に係る
15	10.01		仕入高1.課税	現金	10,000	909	内10 /課税		課税売上に係る
12	10.01		仕入高1.非課税	現金	10,000	909	内10 /非課		非課税売上に係る
10	10.01		仕入高1.共売	現金	10,000	909	内10 /共売		共通に係る
14	10.01		仕入高1.共売	現金	10,000	909	内10 /共売		共通に係る
9	04.01		仕入高1.不課税	現金	10,000	0	不課		税区分 不課税
7	10.01		仕入高1.不課税	現金	10,000	0	不課		税区分 不課税

※上記画像は経理上手くんαシリーズの画面を使用しています。

#### 2) 元帳検索

- ①伝票修正ダイアログの開閉を繰り返すことで、通信リンクエラーが発生していたのを修正しました。
- ※同日出荷の共通処理内のモジュールで修正しています。

#### 3) 残高問い合わせ

- ①比較残高タブで、前期に金額の発生はあるが、前期・当期どちらも残高が0円となっている場合、該当科目枝番を表示しないように修正しました。

## Ⅱ. 出力

---

### 1) 比較・推移表

- ①前期の決算期間が1年未満のマスターで、袋とじ出力にチェックを付けて出力形式を“累計”に設定し、決修月を指定して『比較貸借対照表、比較収支計算書』の出力を行った場合、前期の金額が決修月のみの金額を表示していたので、正しく累計の金額を表示するように修正しました。
- ②『比較貸借推移表』で、下記条件の場合に出力を行うと、文字が被っていたり、金額が欄外に表示していたのを修正しました。
  - (1) 当期の期間が12ヶ月未満
  - (2) 出力月を決修月に設定
  - (3) 「決修月を単独表示する」にチェックを付ける

### 2) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

- ①簡易課税のマスターで、簿価より対価が小さい資産譲渡の仕訳を入力していた場合、[F6 詳細設定]の「課税取引期間計より消費税額を算出する(総額)」にチェックを付けて兼営事業別取引額を出力すると、資産譲渡の合計金額が正しく集計されていなかったのを修正しました。

以上